

九月下旬を迎えますが、蒸し暑い残暑が続いていますね。
秋といえば、読書の秋ですが、夏からスポーツの国際大会も
相次ぎ、今月はラグビーのワールドカップもはじまりました。
今、館内ではラグビー関連の書籍をたくさん展示しています！
スクフェスも終わり、ぜひ読書の秋を過ごしに
メディアセンターに立ち寄ってください。

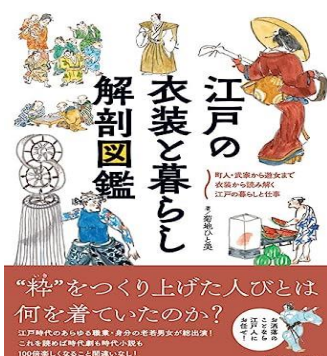


■ 今月の新着図書から ■



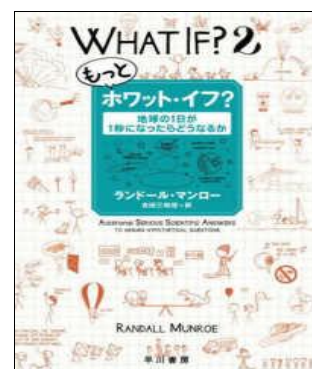
『写真集 関東大震災』分類 210
小園 崇明 / 西日本出版社

9月1日は防災の日ですが、100年前のこの日、東京や神奈川では10万5千人もが命を落とした、関東大震災がおこりました。当時の被害から復興までの道のりを、写真でたどる。



『江戸の衣装と暮らし解剖図鑑』分類 338
菊地ひと美 / エクスタレヅ

江戸時代の武士や商人、子どもたちに至るまで、当時の衣装と暮らしを大解剖。着ている物を見れば身分や職業がわかったというビジュアル重視の江戸時代、面白いですよ！



『もっとホワット・イフ?』分類 404
ランドール・マンロー / 早川書房

「ティラノサウルスが1日に必要とするカロリーは人間何人分?」「エベレストの頂上から雪玉を転がすとどうなる?」など、読者からの質問に元NASAのコミック作家が回答。大人気作品の第2弾です！



『ほんとうのグローバリゼーションってなに?』
分類 519 池上 甲一 / 農文協

異常気象による災害、廃棄物汚染、移民と難民・・・と日本でおきているさまざまな問題も、今や日本だけで解決できることばかりではなくなりました。世界とのつながりはどんどん強くなっています。問題を把握し、考察するうえで、まずグローバリゼーションについて理解するための一冊です。



『せかいの空がみえるまち』分類 913
工藤 純子 / 講談社

中2で野球部の翔(かける)と吹奏楽部でトランペットを担当する空良(そら)。ひょんなことから新大久保で暮らす翔とその町で暮らす人たちと関わるうちに、空良はヘイトスピーチを目の当たりにすることに。それぞれが悩みを抱えつつ、二人にはどんな空が広がることになるのでしょうか。

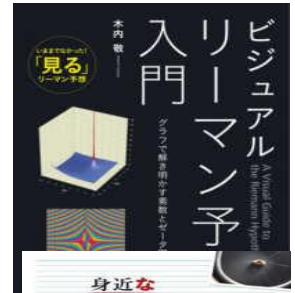
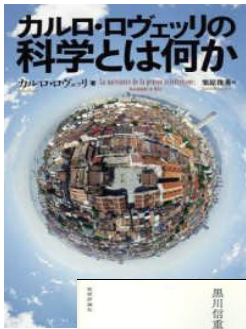


『三つ編み』分類 933 分類
レティシア・コロバンニ / 早川書房

インドの不可触民スミタ、イタリアの毛髪加工会社で働くジュリア、さらにカナダのシングルマザーの弁護士サラ。3つの大陸で生きる3人の女性たちの生きざまは、「髪」をたどって一つに折り重なってゆく。まさに編み込まれていく三つ編みのよう。32言語で翻訳された名作！

SSH の理数系図書がはいりました！

今月は理科と数学の先生方が選んだ
SSH 関連の本がたくさんはいりました！
カウンター前に特設コーナーを設けています。
SSH の研究をしている人はもちろん
研究をしていない人でも
読みたい本があれば貸出をしますので
ぜひどうぞ！



●9月の館内図書展示 「関東大震災から100年」

今から100年前の1923年(大正12年)9月1日に
東京や神奈川などで10万5千人以上の人々が犠牲となった、
日本で最大の地震「関東大震災」が occurred しました。
9月1日は「防災の日」ですが、その由来となったこの震災
のことを知り、ぜひ日々の防災に備えましょう。

『14歳からの自然災害と防災』社会応援ネットワーク 太田出版

『大地震あなたのまち東京危険度マップ』朝日新聞出版社

『写真集 関東大震災』小園崇明 西日本出版社

『復興建築』栢木まどか トウバー・ジンズ

『災害ボランティア』山本克彦 ミネルヴァ書房



この他にも展示しています！

本棚 今年のスクフェスは一般の来場者も訪れて、図書委員会の部屋「Honno Moto」(本とも)の部屋も小学生や親子連れで大賑わいでした。クイズの景品として五月から手づくりしていた図書委員の「ミニ本」も二日間ですべてなくなり、嬉しい悲鳴となりました。懐かしい卒業生との再会も含め、行事を楽しむ皆さんの表情を見ることができ、コロナ禍以前の日々を思い出しました。▲二期から附属世田谷中学校の図書館と「漫画のセット交換」のイベントをはじめました。お互いに読まれなくなった漫画のセットを数か月交換して貸出をする、というものです。図書委員を中心にアンケートで上位だった三作品「きのうに食べた」などが届き、漫画コーナーに並べています。お昼休みにぜひ楽しんでください(渡邊)